



ほこた市

議会だより

平成28年7月31日発行
No.44



平成28年第2回(6月)定例会 第1回臨時会

| | |
|-----------------------|------------------------|
| 平成28年第2回定例会の概要 | P2 |
| 平成28年第1回臨時会の概要 | P3 |
| 提出議案と審議結果 | P2~3 |
| 平成28年第2回定例会 主な質疑/主な討論 | P4 |
| 平成28年第1回臨時会 主な質疑/主な討論 | P5~6 |
| 直接請求について | P7 |
| 各議員の賛否 | P7 |
| ここが聞きたい! 一般質問 | P8~13 |
| 主な議会の動静 | P13 |
| 活動報告 | P14~15 |
| 傍聴者の声 | 平成28年第3回(9月)定例会の予定 P16 |

全国メロンサミット in ほこた

銚田市総合公園



平成28年第2回定例会の日程

| | |
|----------|---|
| 6月7日(火) | 本会議 開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 諸般の報告 行政報告並びに市長提出議案の説明 |
| 6月9日(木) | 本会議 一般質問 |
| 6月10日(金) | 本会議 一般質問 |
| 6月13日(月) | 総務企画常任委員会 |
| 6月14日(火) | 経済建設常任委員会 |
| 6月15日(水) | 厚生文教常任委員会 本会議 |
| 6月17日(金) | 市長提出議案の質疑・討論・採決 閉会中の継続審査 閉会 |

第2回定例会の概要

平成28年第2回定例会は、6月7日から6月17日までの11日間の会期で行われました。

議案は、市長から条例の一部改正の専決処分や医療福祉費支給に関する条例の一部改正などの条例案、平成28年度一般会計及び各特別会計の補正予算案、訴えの提起、市道路線の変更、人権擁護委員の推薦についてなどの18議案が提出されました。

また、平成27年度の一般会計予算及び公共下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書について報告がありました。

一般質問は、9人の議員から通告があり、観光施策についてや銚田市地域防災計画について、開発計画及び企業誘致について、農業を生かした地域活性について、合併協議会の経緯及び合併効果の検証・結果公表について、(仮称)銚田市民交流館建設の賛否を問う住民投票について、地域産業振興施策について、子育て支援について、市の医療費削減対策についてなどの質問が行われました。

委員会は、総務企画常任委員会、厚生文教常任委員会、所管事務の調査を行い、経済建設常任委員会では継続審査となっていた請願の審査や所管事務調査を行いました。今回の定例会では、市長提出の18件の全議案が可決され、1件の請願は継続審査となりました。

提出議案と審議結果

○全員賛成 ●賛成多数 ▲賛成少数 △継続審査

平成28年第2回銚田市議会定例会

条例・規則の一部改正等

○専決処分の承認について

銚田市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について

第1条 銚田市固定資産評価審査委員会条例の一部改正

第2条 銚田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正

○専決処分の承認について

銚田市税条例等の一部改正について

○専決処分の承認について

銚田市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

平成28年度補正予算

▲平成28年度銚田市一般会計補正予算(第1号)修正案

●平成28年度銚田市一般会計補正予算(第1号)

1億6493万1千円の増額

○平成28年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第1号)

132万6千円の増額

○平成28年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

200万円の増額

○平成28年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

400万円の増額



平成28年第1回臨時会の議事日程

6月24日(金)

本会議

・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸般の報告

・提出議案の説明

・条例制定請求代表者の意見を述べる機会の付与について

6月30日(木)

本会議

・諸般の報告

・条例制定請求代表者の意見陳述

・提出議案の質疑・討論・採決

・閉会

第1回臨時会の概要

平成28年第1回臨時会は、6月24日から6月30日までの7日間の会期で行われました。

市長から、(仮称) 銚田市民交流館の賛否を問う住民投票に関する議案が提出されました。

提出された議案は次の3件です。

① 条例制定請求代表者から請求された「(仮称) 銚田市民交流館計画」並びにこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例案に、市長が意見を付して提出した

議案(議案第3号)

② 市長が提出した(仮称) 銚田市民交流館建設の賛否を問う住民投票条例案(議案第1号)

③ 住民投票に係る経費を計上した一般会計の補正予算案(議案第2号)

6月24日、議案の説明の後、条例制定請求代表者の意見を述べる日時・場所等を決定し、条例制定請求代表者に意見陳述の機会が与えられました。

6月30日、議案第3号に係る意見陳述が行われ、条例制定請求代表者4人のうち3人が本会議において、1万3000筆を超える署名数についてや住民投票の必要性、署名活動の経緯、(仮称) 銚田市民交流館は不必要などの意見を述べました。

議案第3号の質疑では、市長が条例案に付した意見書についての質疑などが行われ、討論、採決の結果、賛成少数(賛成9、反対10)で否決となりました。

次に、議案第1号の質疑では、投票率が2分の1を超えない場合、住民投票は成立しないことを規定した条項などについて質疑が行われました。討論、採決の結果、賛成少数(賛成3、反対16)で否決となりました。

住民投票条例案がともに否決となったため、市長から住民投票に係る一般会計補正予算案の撤回の申し出があり、賛成多数により撤回は承認されました。

今臨時会に提出された2件の住民投票条例案はともに否決され、一般会計補正予算案は撤回されました。

● 専決処分の承認について

銚田市国民健康保険条例の一部改正について

○ 銚田市議会議員及び銚田市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について

○ 銚田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について

○ 銚田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

○ 銚田市民家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

その他

○ 訴えの提起について

○ 市道路線の変更について

人事

○ 人権擁護委員の推薦について(4件)

請願

△ TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

平成28年第1回銚田市議会臨時会

条例・規則の一部改正等

▲ (仮称) 銚田市民交流館建設の賛否を問う住民投票条例の制定について

▲ 「(仮称) 銚田市民交流館計画」並びにこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例の制定について

平成28年度補正予算

平成28年度銚田市一般会計補正予算(第2号)

※ 議案撤回のため審議せず



平成28年度第2回定例会

〈本会議〉
6月17日

議案第9号

平成28年度鉾田市一般会計補正予算(第1号)

○提案趣旨

補正の主な内容は、大洋地区の放課後児童クラブ増設に係る費用を増額するとともに、市指定文化財である史跡「三階城跡」の用地購入費、鉾田南中学校区統合小学校建設用地における埋蔵文化財発掘調査業務委託料の追加、熊本地震の災害支援関連経費などを増額するものです。

主な質疑

問

【亀山 彰議員】鉾田南中学校区統合小学校の用地について、3月の議会までは、借地にはしない、購入しなくても学校建設はできるとのことでした。なぜ借地にすると方向転換をしたのか確認したいと思えます。

答

【教育部長】法定外道路が譲っていただけない土

議案第9号

平成28年度鉾田市一般会計補正予算(第1号)に対する修正案(発議者/井川倫士議員、郡司功議員、岸田一夫議員)

○修正案趣旨

今回上程された補正予算は、「鉾田南中学校区統合小学校整備事業」並びに「文化財保護・啓発事業」の2事業の予算を盛り込んだ内容となっています。しかし、鉾田南中学校区統合小学校建設用地の未買収用地については、借地という前例を作ること、今後の用地買収に課題を残すことにもなりかねません。また、市指定文化財である「三階城跡」の用地買収については、文化振興計画等についても何らその計画が示されておらず、計画をじっくり作成審議したうえで用地買収が妥当と思われる。以上の理由から、予算案に対しては再度の検討・審議が必要であるため、修正案を提出するものです。

○原案賛成討論

(倉川 陽好議員)

放課後児童クラブの開所のため、の予算が網羅されているほか、農業集落排水事業についても、本来は受益者負担のところを市が代理で払ってくれている、思いやり予算であると思えます。また、小学校の維持管理費でも、白鳥西小学校の土手の工事費が予算化されており、これらの素早い対応にも賛意を示したいと思えます。よって、議案第9号に賛成の意を表し、賛成討論とさせていただきます。

○修正案賛成討論

(根寄 眞議員)

将来的に必要な事業ではあると認めるが、今議会での議決は見送るべきだと思います。1つ目の理由として、鉾田市の文化政策ビジョンがなく、計画も未整備であるため。2つ目は合併特例債のような有利な予算を探るべきであるため。3つ目は緊急性があるとは思えないため。4つ目は維持管理費を含め将来の負担が予測できないため。5つ目は、平成28年度は、鉾田市総合計画を策定する年にあたり、将来のビジョンとして基本目標を定め、計画を検討する必要があるため。以上5つの理由から、予算の修正が妥当と考えます。



平成28年第1回臨時会

〈本会議〉
6月30日

議案第3号

〔仮称〕銚田市民交流館計画〕並びにこれに係る
市費の支出の賛否を問う住民投票条例の制定について

○提案趣旨

本案は地方自治法第74条第1項の規定による条例の制定の請求を受理したので、同条第3項の規定に基づき、意見書を附けて付議するものです。

○請求代表者〔市民の会〕の陳述内容(要旨)

〔井川 澄江氏〕不信な点がいくつもある中で計画内容が十分認知されないまま、市民不在で事業が進められてきたこと、建設予算が増大し、後世へのツケを残す懸念があること、あのような設計や場所では将来を担う子ども達のためになるとは思えないことなど、危惧することがいくつもあります。民意を受けとめ、住民投票を行ってほしいと思います。

〔小室 昭子氏〕150億円も基金があり健全財政であるならば、スクールバス無料、給食費無料、小学生へのランドセル無償配布など、子育て中の若い方々が銚田に住みたいと思うまちづくりをするべきです。市民交流館ができて、今の銚田市の現状では若い人を呼ぶことはできないと思います。

〔塙 厚子氏〕今建てようとしている交流館はメリットが見出せません。人口減少、高齢化問題、地方交付税の減少が目の前に現実としてあるのですから、直せるものは直して使い、今優先すべきことは何なのかを見きわめ、市民の税金を正しく使ってほしいと思います。

主な質疑

問

〔井川 倫士議員〕意見書の中に「住民投票の投票率が、あらかじめ定められた水準を上回るものでなければ、投票結果を民意として尊重することには大きな問題があると考えます。」とありますが、1万3千を超える署名があった時点で、民意はもう問われているのではないかと思えます。民意とは、市長はどう考えているのでしょうか。

答

〔市長〕個別の政策の賛否を問うためには一定程度の制止力を持たせる必要があると考えています。例えば議会では賛否を問う際にも、過半数の出席がなければ成立しません。市民に投票に参画していただき、皆で政策決定をするという意識を持ってもらうことが重要だと思います。投票率が過半数に満たない場合というのは、半数以上の市民が賛成でも反対でもないということです。そういう中で少数意見だけで政策決定をすることは、何事も進まない状況に陥る危険があると考えています。

○賛成討論(高野 衛議員)

〔仮称〕銚田市民交流館計画〕並びにこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例は、市民交流館の建設に反対なのか、建設には賛成だが見直しを求めるものなのかの判断ができないと意見書に書かれていますが、現計画と市費の支出に賛成の人は賛成、反対・見直しの人は反対と明確であります。1万3786人の人々に支持された条例であり、納得できる内容であるので、議案第3号に賛成いたします。



平成28年第1回臨時会

〔本会議〕
6月30日

議案第1号

(仮称)銚田市民交流館建設の賛否を問う 住民投票条例の制定について

○提案趣旨

本案は、現在計画を進めている(仮称)銚田市民交流館の建設の賛否について、市民の意思を確認するため制定するものです。

主な質疑

問

〔岸田 一夫 議員〕 条例第15条で住民投票の成立要件は2分の1以上の投票率とすることですが、市長選挙においても投票率は53〜54%、そして市議会議員の選挙でも64%です。そうすると3割から4割の方が投票に行かないということですので、この案でいきますと、投票に行かない人は賛成のほうに組み入れられて

しまつのではないかと思います。

私の解釈では全体の中でやって、反対が多いのか賛成が多いのかということであって、2分の1とは解釈できません。

また、3年前の市長選挙において、反対の意見が多数であれば(仮称)銚田市民交流館事業を中止することもありますということでしたが、その辺りを伺います。

答

〔市長〕 その文言につきましては、住民説明会を行ったり、そしていろんな人との話し合い等いろいろありますが、もちろん市民5万人から意見を聞けるわけはありませんので、最終的には、議会の賛否を目安として考

えました。議会は住民の代表であり、様々な予算を審議して議決する権限を持っています。議会が予算が否決となれば、市民の半分が反対だと。当然予算も執行できませんからやめるつもりです。

○反対討論(岸田 一夫 議員)

本案は住民投票の投票率が50%未満の場合には不成立であると規定がされております。投票率が50%未満の場合には、49・9%の投票があったとしても、その民意を切り捨てるということです。投票率が重要だと言いますが、最も重要なのは投票という行為をもって意思表示を行った市民の本当の声を大切にすることではないでしょうか。このような本当の住民の声を切り捨てようとする条例案には到底賛成はできません。以上の理由から本案に反対します。

○賛成討論(倉川 陽好 議員)

この条例は市民の皆様が提出したものに對して、市長が住民投票を行うという意思のもとに、よりよい住民投票をやってもらうためにはどのようなものを出したらいいかということ、提出したものののだと思います。市民の皆さんが住民投票をするのには、この提案に賛成するほかにないでありますから、私は賛成の立場で討論いたします。



直接請求について

直接請求とは

現在の地方自治制度では、選挙で議会議員及び長を選ぶことによって地方行政に参加する「間接民主制」が原則となっています。直接請求とは、その例外として設けられた、住民の意思を直接地方行政に反映させる制度です。

直接請求の種類

直接請求は一定の連署を持ってその代表者が請求するもので、次の5種類があります。

- ① 条例の制定又は改廃の請求
- ② 監査の請求
- ③ 議会の解散の請求
- ④ 議会の議員及び長の解職の請求
- ⑤ 主要公務員の解職の請求

直接請求のうち、「条例の制定又は改廃の請求」の概要については次のとおりです。

条例の制定又は改廃の請求の概要

条例の制定又は改廃は、選挙権を有する者の総数の50分の1以上の者の連署をもって請求することができます。

これは本来、長、議員及び委員会にのみ認められている提案権が、その例外として住民に与えられているものです。

しかし、住民には条例の制定又は改廃について、議会に議決を請求するにとどまり、審議は議会にゆだねることになりますので、最終的な決定権は議会が持つこととなります。

住民投票条例制定請求の経緯

議案第3号

〔仮称〕銚田市民交流館計画並びにこれに係る

市費の支出の賛否を問う住民投票条例の制定について

平成28年4月11日

・ 条例制定請求代表者(以下、「請求代表者」) 4人から条例制定請求代表者証明書の交付申請。

平成28年4月14日

・ 市長は、条例制定請求代表者証明書を交付し、その旨を告示。

平成28年5月19日

・ 請求代表者が市選挙管理委員会(以下、「選管」)に署名簿を提出。選管は審査を開始。

平成28年6月8日

・ 選管は審査を終了し、その結果を告示。また、署名の縦覧についても告示。署名簿に署名し印を押した者の総数

有効署名の総数 14284人

平成28年6月16日

・ 選管は縦覧終了後の有効署名の総数を告示。有効署名の総数 13786人

平成28年6月17日

・ 請求代表者が、市長に署名簿を添えて条例制定請求書を提出。市長は、請求代表者の氏名等や請求の要旨を告示。

平成28年6月24日～30日

・ 第1回臨時会において、市長が直接請求された条例案を提出。30日に請求代表者が意見陳述。議会は条例案を審議、採決。

議員の賛否が分かれた議案

| 会議名 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | 採決結果 | | | | | | | | | | |
|--------|---|-------|---------|------|------|-----|------|--------|-----|-----|-----|------|-------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|----|----|
| | | 反対討論 | 賛成討論 | 井川倫士 | 渡辺拓哉 | 亀山彰 | 岸田一夫 | 二重作茂兵衛 | 郡司功 | 小沼勝 | 根岸眞 | 小沼幸義 | 水上美智子 | 入江晃 | 岩間勝栄 | | 井川茂樹 | 米川宗司 | 友部政徳 | 山口徳 | 田口清一 | 堀田正衛 | 高野衛 | 倉川陽好 | | |
| 第2回定例会 | 専決処分の承認について 銚田市国民健康保険税条例の一部改正について | 高野 | 倉川 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 可決 | |
| | 平成28年度銚田市一般会計補正予算(第1号)修正案 ※小学校用地借上料及び史跡用地購入費を削除する修正案 | — | 根岸・高野 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | 議 | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ○ | 否決 |
| | 平成28年度銚田市一般会計補正予算(第1号) | — | 倉川 | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 可決 |
| 第1回臨時会 | 〔仮称〕銚田市民交流館計画並びにこれに係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例の制定について(市民の会案) | — | 井川倫士・高野 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ● | ● | ○ | 議 | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 否決 |
| | (仮称)銚田市民交流館建設の賛否を問う住民投票条例の制定について(市長案) | 高野・岸田 | 倉川 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 議 | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 否決 |

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席 退：退席



ここが聞きたい! 一般質問

平成28年 第2回 鉾田市議会定例会 一般質問通告順

| 議員名 | 質問事項 |
|-------|---|
| 倉川 陽好 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光施策について 2. おもてなしについて 3. 道路行政について 4. 施設の維持費等について 5. 公民館と文化施設について |
| 岸田 一夫 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 鉾田市地域防災計画について 2. 鉾田北小学校について 3. (仮称)鉾田市民交流館について |
| 郡司 功 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発計画及び企業誘致について 2. 教育行政について |
| 渡辺 拓哉 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ランドセル無償配布について 2. 農業を生かした地域活性について 3. 市の情報発信について |
| 井川 倫士 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 鉾田市の記者会見、並びにプレスリリースの仕方について (本市の魅力等に対する情報発信のため) 2. 市長と副市長の役割分担について (効率的な市民協働のまちづくりのため) 3. 合併協議会の経緯及び、合併効果の検証・結果公表について 4. 日本有数のハコモノ建設に対する直接請求(住民投票実施の請求)となった経緯について 5. 鉾田市の現状の行政・政策課題について |

| 議員名 | 質問事項 |
|-------|--|
| 高野 衛 | <ol style="list-style-type: none"> 1. (仮称)鉾田市民交流館建設の賛否を問う住民投票について 2. 奨学金制度について 3. 太陽光発電所建設計画について 4. 道路の整備について 5. ほっとパークの多目的広場の管理と利用について 6. 猪対策について |
| 亀山 彰 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒の通学時の安全について 2. 地域産業振興施策について 3. 鉾田市公共施設等総合管理計画について |
| 水上美智子 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路の危険箇所について 2. 子育て支援について 3. 食品ロス削減に向けての取り組みについて 4. 選挙権年齢の引き下げについて 5. 地域活性化について 6. バナー広告について |
| 入江 晃 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 休日開庁について 2. 市の医療費削減対策について |

ホームページで 一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①鉾田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

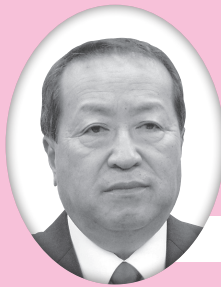


なお、今定例会の会議録公開は、9月頃の予定です。
本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ |

検索





(仮称)銚田市民交流館の建設について

岸田 一夫 議員

問 (仮称)銚田市民交流館及び、進入路予定地周辺に市長及び親族または関係する法人の所有する不動産があるのかについて伺います。

答 【市長】土地については、どこまでの距離を周辺と指すのかによるのですが、(仮称)銚田市民交流館の建設予定地から100メートル、あと進入路の予定地から約30メートル付近に、私または親族が所有する土地は存在していません。しかし、今回の進入

再質問 この土地が、進入路ができて、(仮称)銚田市民交流館ができたために、相当価値が上がっているのではないかと懸念を感じると思っています。

答 【市長】土地については、開発する気路整備に当たって、私や親族が所有するどちらかの土地についても、進入路及び進入路の道路づけになることはありません。

再質問 この土地が、進入路ができて、(仮称)銚田市民交流館ができたために、相当価値が上がっているのではないかと懸念を感じると思っています。

答 【市長】土地については、開発する気



公民館と文化施設のの違いと活用の考えについて

倉川 陽好 議員

問 公民館と文化会館や市民交流館等の仕組みや内容、法律等の定めの違いはどのようになっていますか。また、これらの活用について市での啓発やPR等はどのようにしているのかお尋ねします。

答 【総務部長】公民館とは、社会教育法に定められた教育、学術及び文化に関する各種事業を行うことを目的とした施設で、営利を目的とした事業や特定の政党の利害に関する事業、特定の宗教の支持または支援などは禁止されています。一方、文化会館、文化施設は、文化の振興を目的とした多目的施設であり、営利目的や政党、宗教などの使用制限もありませんので、多目的に利用することが可能な施設となっております。

再質問 銚田市民交流館もこの施設であり、有料の興業での利用も可能となります。また、市民の文化活動のみならず、芸術団体を招いて舞台や音楽の公演をするなど、文化芸術への場の提供をすることにより、市民の鑑賞機会も拡大し、市民の創造性や感性が育まれ、子どもたちの豊かな心の形成につながっていくものと考えております。この市民交流館から銚田市の魅力を発信して多くの方々

提言 施設があればいろいろなことができます。震災で沈んだ気持ちを明るくすることもできる。そのような施設の活用を図るのも、市民の皆さんの知恵だと思います。自助、共助、公助の精神で、銚田市の未来を担う子どもたちの夢を育てる施設の早期着工を期待します。

再質問 銚田市民交流館もこの施設であり、有料の興業での利用も可能となります。また、市民の文化活動のみならず、芸術団体を

答 【市長】土地については、開発する気





ランドセルの無償配布をする考えはあるか

渡辺 拓哉 議員



鉾田西部工業団地への企業誘致の計画は怎么样了のか

郡司 功 議員

問 現在、経済的に大変な方に限りランドセルを無償配布できないかと考えています。おばあちゃんやおじいちゃんが買ってくれるところは買ってもらったほうが、買うほうももうほうもいいと思います。しかし、経済的にランドセルを買うのが大変な家庭があるのも現状です。そのような方に、書類などで申請していただいて配布するのはどうでしょうか。ただ、個人情報の取り扱いには慎重にで

答 【健康福祉部長】現在、経済的な不安がある方に対するランドセル配布の考えはありません。女性はとても大事な働き手です。そのために母子家庭の方などの住みやすい環境を少しずつ整えることは、鉾田市の人口増加にも必要不可欠だと思えますので、経済的な不安がある方だけでもランドセルの無償配布は必要だと考えますが、市の考えを伺います。

さんが、小学校の入学準備期は出費が多い時期であり、子育てをしている世代は経済的に余裕がない世代でもあることから、子育て世代に対し、児童手当の支給を行っています。さらに、ひとり親世帯に対しては、児童扶養手当を支給しているほか、入学準備期には、社会福祉協議会から祝金の支給、茨城県母子寡婦福祉連合会からは学用品等の配布もされています。また、市の単独事業と

して、今年度から1歳半健診時に2万円を支給する子育て応援事業をスタートし、多子世帯保育料軽減事業として、国や県の基準から外れた第3子以降の児童に対しても保育料の助成を行う第3子以降保育料助成事業も始め、子どもを産み育てやすい環境づくりの推進に努めています。今後、支援制度を推進しながら、子育て支援に取り組んでいきたいと考えています。

問 青柳地内に50町歩の工場用地があります。この計画について及び企業誘致の計画について伺います。

答 【総務部長】茨城県の方針として、鉾田西部工業団地の造成工事は、企業側にもメリットがあるオーダーメイド方式を予定していると伺っていますが、現在の状況としては、立地に対する相談はあるものの、具体的な工場立地までには至っていません。

高速道路のインターチェンジから近接していることが企業立地の大きな条件でもありますので、東関東自動車道水戸線の鉾田インターチェンジの開通が一つの起爆剤になると考えており、茨城県事業推進課や茨城県立地推進東京本部などと連携しながら、企業誘致に向けてPRしていきたいと考えています。また、鉾田西部工業団地には、東日本大震災復興特別区域法第43条の地

方税の優遇措置がありますが、今後、市独自の優遇措置等も検討して、積極的に誘致活動を図っていきたく考えています。**再質問** 鉾田市のふるさと納税の「選べる使い道」の中に「鉾田西部工業団地の整備に取り組み。工業立地を視野に入れた産業流通基盤の整備を進めます」とあります。また、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略の中で、5年間のうちに企業を3社誘致



鉾田市民交流館建設の賛否を問う住民投票の要求をどう捉えているか

高野 衛 議員



合併協議会の経緯及び、合併効果の検証・結果公表について

井川 倫士 議員

問 鉾田市民交流館建設の賛否を問う住民投票の実現を目指して、鉾田市の未来を考える市民の会が集めた署名は有権者の3分の1を超え、市選挙管理委員会に提出されました。積極的に住民投票を実施すべきと考えますが、市長は住民投票の要求に対し、どのように捉えていますか、お尋ねします。

答 【市長】この事業については、市長選挙で大きな争点になり、選挙の後、4回の市民説明

再質問 事業費が膨らむ行動になった大きな理由だと思えます。住民投票に署名をされた方は、市民にとって大事な問題なので、建設の賛否は住民投票で決めて

答 【市長】確かに事業費は上がっていますが、平成23年の基本計画の段階から5年が経っていますし、その間に凍結もありました。そして、計画の規模は大きくなつたわけではありませんが、さらに、事業費が上がっても、丸々負担をするわけではありませんが、その辺は、我々ももっと皆さんに説明をしていかなければならないと考えています。

問 旧3地区それぞれの合併効果について、金額で、解答してください。

地区が11事業、大洋地区13事業あります。高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金につきましては、平成20年度から平成24年度で、2億5000万円の交付金を活用して、市内小中学校の机・椅子の購入や理科室備品の購入、学校図書館の図書購入、パソコン教室のパソコン及び空調の整備など学校教育環境の整備及び充実に回ってまいりました。地区別では、旭地区が4300万円、鉾田地区が1億3200万円、大洋地区が9800万円となっております。

米軍訓練の再編に伴う再編交付金は、10年間で約10億円ですが、平成20年度から交付金を活用して消防自動車や防火水槽の整備、道路の整備、小中学校の整備、多様化する教育現場の支援、地場産業振興支援などを行っております。平成27年度までの事業費はトータル11億9000万円であり、旭地区が1億6000万円、鉾田地区が8億8400万円、大洋地区が1億4600万円となっております。

このように、3町村が合併しなければ対象にならなかった交付金を活用して整備することが可能となり、生活環境や教育環境など3地区の均衡を図ることができたものと考えております。





食品ロスの削減に向けた教育施設での取り組みは

水上 美智子 議員



公共施設等の管理計画や新設計画についての考えは

亀山 彰 議員

答 【教育部長】各幼稚園では、年間の授業計画を作成して、保健師や栄養士による絵本やかるた

問 と、農林水産省によると、日本では年間2801万トンの食品廃棄物が発生しており、そのうち642万トンが食品ロスと推定されています。そこで、本市の学校や幼稚園、保育所での給食や食育、環境教育を通して啓発をしていくべきではないかと考えます。本市の考えを伺います。

環境教育を行っています。小中学校では、今年度から

を使った指導をしています。小中学校では、小学生を対象に、残さず食べようをテーマに食に関する学習をしているところです。また、栄養教諭が教室で児童と一緒に給食を食べながら、食べる大切さや残さず食べるということを話し合い、指導しています。児童生徒の家庭にも給食だよりや献立表を配布して、食べ残しの削減を目的とした食育、環境教育を行っています。

を伝えていきます。今後、食育、環境教育を通しながら

食に関する指導の時間をふやして、残さず食べる意識のさらなる高揚に取り組んでいきます。【健康福祉部長】市の栄養士が公立の保育所と民間の各保育園に年4、5回出向き、食育の講話を行っています。また、保護者へ講話の内容のチラシを作成して、親子で取り組めるよう啓発をしています。保育士も毎日の給食を通して食への感謝や大切さを伝えていきます。今後、食育、環境教育を通しながら

校へ配ったり、イベントの商品等に充てています。消費期限の迫っているものは随時新しいものに交換しています。

再質問 【市長】国も含めて、これまでより人口が減っていく中で、インフラを縮小することは考えていかなければならないと思います。【市長】国も含めて、これまでより人口が減っていく中で、インフラを縮小することは考えていかなければならないと思います。

問 公共施設等の全体を把握し、長期的視点を立って管理計画や新設計画を策定することは、人口減少が予想される本市には大切だと思われま

ず、計画策定のメリットを伺います。つぎに、銚田市のインフラ整備計画について考えを伺います。

答 【総務部長】銚田市公共施設等総合管理計画を策定するメリットですが、本市における人口

削減等による公共施設等の利用需要の変化を予想し、長期的な視点に立って、施設全体の最適化を計画的に実施するための指針や、今後の財政負担の軽減、平準化の指標とできることです。さらに、この計画の策定経費の一部が特別交付税で措置されることや、公共施設の集約化、複合化を行う場合に有利な条件で地方債が借り入れできることなどがメリットとされています。次に、インフラ整備計画については、必要なインフラ整備を行いながら、長寿命化を図り、最適化に努めていきたいと考えています。

削減等による公共施設等の利用需要の変化を予想し、長期的な視点に立って、施設全体の最適化を計画的に実施するための指針や、今後の財政負担の軽減、平準化の指標とできることです。さらに、この計画の策定経費の一部が特別交付税で措置されることや、公共施設の集約化、複合化を行う場合に有利な条件で地方債が借り入れできることなどがメリットとされています。次に、インフラ整備計画については、必要なインフラ整備を行いながら、長寿命化を図り、最適化に努めていきたいと考えています。

削減等による公共施設等の利用需要の変化を予想し、長期的な視点に立って、施設全体の最適化を計画的に実施するための指針や、今後の財政負担の軽減、平準化の指標とできることです。さらに、この計画の策定経費の一部が特別交付税で措置されることや、公共施設の集約化、複合化を行う場合に有利な条件で地方債が借り入れできることなどがメリットとされています。次に、インフラ整備計画については、必要なインフラ整備を行いながら、長寿命化を図り、最適化に努めていきたいと考えています。

再質問 【市長】国も含めて、これまでより人口が減っていく中で、インフラを縮小することは考えていかなければならないと思います。

再質問 【市長】国も含めて、これまでより人口が減っていく中で、インフラを縮小することは考えていかなければならないと思います。



主な議会の動静

5月

- 17日 鹿行政経懇話会
- 27日 小学校跡地利活用に関する特別委員会
- 31日 全国市議会議長会第92回定期総会

6月

- 1日 議会運営委員会
- 1日 (仮称) 鉾田市民交流館整備に関する特別委員会
- 7日～17日 平成28年第2回定例会
- 8日 鹿行政経懇話会
- 10日 (仮称) 鉾田市民交流館整備に関する特別委員会
- 13日 総務企画常任委員会
- 14日 経済建設常任委員会
- 15日 厚生文教常任委員会
- 16日 小学校跡地利活用に関する特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 17日 議会広報編集委員会
- 17日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 21日 議会運営委員会
- 24日～30日 平成28年第1回臨時会
- 24日 議会広報編集委員会

7月

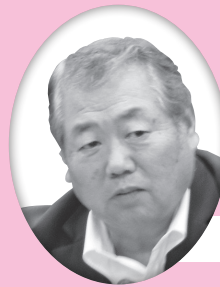
- 5日～6日 茨城県市議会議長会視察研修(栃木県)
- 19日 議会広報編集委員会
- 22日 県東市議会議長会定例会

～議会を傍聴してみませんか～

鉾田市議会では、定例会が原則として、3月、6月、9月、12月の年4回開催され、本会議は通常午前10時に開会となります。

本会議は公開されており、原則としてどなたでも傍聴できます。傍聴を希望される方は、当日に市役所3階の議会事務局までお越しいただき、鉾田市議会傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入していただくようお願いします。

また、市役所1階ロビーでも議会の様子が放映されておりますのでご覧ください。



鉾田市の医療費削減対策についての考えや施策は

入江 晃 議員

問 市の医療費削減対策について伺います。1点目は、健康診断受診率の目標と達成率はどのくらいになっているのか。2点目に、受診率を上げる対策はどうしているか。3点目に、健康診断や運動をした人に現金や商品を送る健康マイポイント事業なるものが各自治体や企業の健康保険組合でふえています。我が市の考えはどうか、伺います。

答 【健康福祉部長】 まず、特定健康診査の受診率ですが、平成27年度は目標値50%に対して、受診率が38.2%でした。各種がん検診の受診率は、50%の目標値に対し、胃がん検診22.2%、肺がん検診39.4%、大腸がん検診34.4%、乳がん検診21.2%、子宮がん検診15.1%でした。

受診率を上げる対策としては、未受診者に対し電話による健診の個別勧奨をするほか、平成28年度は、春の健診未受診者に対して秋の健診の受診券を郵送し、受診率の向上に努めます。また、各種がん検診においては、胃がん及び肺がん検診未受診者にリーフレット等を送付し、受診勧奨をしました。今後も受診勧奨に力を入れたいと考えています。

健康マイポイント事業については、当市としては、健康カレンダーや広報等で啓発を図り、各種健康教室や健診の事後指導を行うことで、市民が健康的な生活習慣を身につけるための動機づけをしたいと考えています。

提言 ほっとパークやとつぶ・さんて大洋の入浴券を配るとか、お店とコラボして割引券を出すなど、上手にやれば皆さんが潤いながら健康もよくなっていく施策ができると思います。医療費を削減するためには、削減する施策をいっばい考えていただきたいと思っています。

答 【健康福祉部長】 健康マイポイント事業については引き続き注視、研究をしていきたいと考えています。



市議会議員活動状況

平成28年4月1日～6月30日

| 期 日 | 議会・委員会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|-------|------------------------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 井川倫士 | 渡辺拓哉 | 亀山 彰 | 岸田一夫 | 二重作茂兵衛 | 郡司 功 | 小沼 勝 | 根寄 眞 | 小沼幸義 | 水上美智子 | 入江 晃 | 岩間勝栄 | 井川茂樹 | 米川宗司 | 友部政徳 | 山口 徳 | 田口清一 | 堀田正衛 | 高野 衛 | 倉川陽好 |
| 4月25日 | 総務企画常任委員会 | - | - | - | 欠 | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 4月28日 | 小学校跡地利活用に関する特別委員会行政視察 | ○ | ○ | ○ | - | - | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 5月27日 | 小学校跡地利活用に関する特別委員会 | ○ | ○ | ○ | - | - | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 6月 1日 | 議会運営委員会 | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - | - |
| 6月 1日 | (仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - | - | - | - | ○ | - |
| 6月 7日 | 平成28年第2回定例会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月 7日 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月 9日 | 平成28年第2回定例会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月10日 | 平成28年第2回定例会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月10日 | (仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - | - | - | - | ○ | - |
| 6月13日 | 総務企画常任委員会 | - | - | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - | ○ | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 6月14日 | 経済建設常任委員会 | - | ○ | - | - | ○ | - | - | - | ○ | - | - | - | - | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - |
| 6月15日 | 厚生文教常任委員会 | ○ | - | ○ | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - |
| 6月16日 | 小学校跡地利活用に関する特別委員会 | 欠 | ○ | ○ | - | - | - | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | - | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 6月17日 | 平成28年第2回定例会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月17日 | 議会運営委員会 | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - |
| 6月17日 | 議会広報編集委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | - | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - | - |
| 6月17日 | 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会 | - | - | - | - | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月21日 | 議会運営委員会 | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - |
| 6月24日 | 平成28年第1回臨時会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6月30日 | 平成28年第1回臨時会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○：出席 欠：欠席 -：当該委員会等に所属していない議員

委員会活動報告

小学校跡地利活用に関する 特別委員会行政視察

期日：平成28年4月28日(木)

小学校跡地の利活用の事例について調査・研究するため千葉県鋸南町の道の駅「保田小学校」を視察しました。現在、鋸南町は人口8344人で、2040年には人口が4000人になると予想されるなど過疎化が進んでいます。また、児童数の減少により、平成26年度に町の教育施設再編計画に基づき、3校あった小学校を1校に再編しました。

過疎化の進展と小学校閉校による地域コミュニティ喪失の問題は「このまま何もしなければ、地域活力の減退を招く」との危機感となり、経済活性化の起爆剤となるプロジェクトが立ち上がりました。コンセプトは、廃校を活用した事業を創造し、町に人と仕事を呼び込み、新たなコミュニティの核を創るというものでした。この計画をもとに完成した道の駅「保田小学校」は、平成27年に地域活性化の拠点となる先駆的な取組を行っているとして重点「道の駅」として選定されました。都市交流施設として地域活性化や交流人口の増加に貢献しており、廃校を活用した事業として大きな注目を集めています。鋸南町の取り組みは当市にも大変参考となるものでした。この成果を当委員会の活動に活かしてまいりたいと思います。



委員会活動報告

経済建設常任委員会

所管事務調査

期日：平成28年6月14日（火）

地域間連絡道路整備事業及び新市連絡道路整備事業について、道路建設課の説明を受け、現地視察を実施しました。

地域間連絡道路（東野地内）は、幅員が3.5mと狭小で危険な状況であることから、地元から道路の幅を広げるよう強い要望がありました。用地取得が済んでいない箇所があるなど課題もありますが、整備完了を目指し事業を推進しているとのことでありました。

また、新市連絡道路（安塚地内）は、町村合併に伴う新市建設計画の中で整備計画があり、県の支援道路指定を受けた路線であります。本道路の整備により銚田地区と大洋地区の地域住民の交通の利便性が図れることが確認できました。



厚生文教常任委員会

所管事務調査

期日：平成28年6月15日（水）

茨城国体開催準備事業及び銚田総合公園改修事業と市指定文化財「三階城跡」について、生涯学習課の説明を受け、現地視察を実施しました。

茨城国体開催準備事業については、平成31年度に銚田市で開催する山岳競技普及のため、クライミングボードが設置されていない小学校への設置を求める意見等が出されました。

銚田総合公園改修事業については、駐車場への通路の幅を広げる改修工事や陸上競技場スタンド改修工事等について説明を受け、陸上競技場については、公認大会が実施できるよう全8レーンをウレタン舗装にすることを求める意見も出されました。



議員辞職について

小沼 幸義 議員が議員辞職しました。

辞職年月日 平成28年7月4日
 （本人寄稿）私は住民投票条例に、市民の皆さんの提出した有権者の3分の1以上の署名に対し、民意を無視した議決に怒りを感じ、議会閉会后、即辞職しました。

※お詫びと訂正について

2016年4月30日発行の「議会だより43号」の掲載内容の一部に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、左記の通り訂正させていただきます。

4ページ中段左

「平成28年度の主な事業」

●第3子以降保育料

助成事業 の事業費

（誤）1億200万円

（正）1020万円

●第3子以降幼稚園授業料

助成事業 の事業費

（誤）2400万円

（正）240万円



傍聴者の声



箕輪東区長
栗原 久彌

平成28年第2回銚田市議会定例会を傍聴させていただきました。今回は、(仮称)銚田市民交流館を巡る諸問題がある中での議会とあって、傍聴席は満席の状態でありました。質問に立つ各議員さんは質問事項を整理とまとめ、多岐にわたったの質問をし、執行部としっかりと議論を交わしており、質問する各議員さんが裏付けとなる調査や勉強をしている様子がうかがわれました。

今後も住みよい街づくりのためしっかりと努めてほしいと思います。

平成28年第3回(9月)定例会日程(予定)

| 月日 | 会議内容 |
|----------|---------|
| 9月7日(水) | 本会議 開会 |
| 9月9日(金) | 一般質問 |
| 9月12日(月) | 一般質問 |
| 9月15日(木) | 本会議 |
| 9月16日(金) | 本会議 |
| 9月20日(火) | 決算特別委員会 |
| 9月21日(水) | 決算特別委員会 |
| 9月23日(金) | 決算特別委員会 |
| 9月26日(月) | 常任委員会 |
| 9月27日(火) | 常任委員会 |
| 9月28日(水) | 常任委員会 |
| 9月30日(金) | 本会議 閉会 |

※日程は変更になる場合があります。

平成28年第2回(6月)定例会の延傍聴者数131名
平成28年第1回臨時会の延傍聴者数108名



写真：議場見学(上島東小学校)

編集後記

市議会が改選されてから一年が過ぎ、回を重ねるごとに傍聴者の数が多くなっていると感じています。これは市民の皆様が(仮称)銚田市民交流館建設や統合小学校教育等大きな事業を控えた市の将来への期待や不安が市政への関心となり、直接、議員の動向を注視しているからだと思います。

6月30日の臨時議会最終日には、採決の行方を観ようと傍聴席から溢れるほどの多くの皆様に傍聴して頂きましたが、住民投票を求める市民の会案と市長案の両案とも否決するという傍聴者の皆様には分かりづらい結果になってしまいました。

議会広報編集委員会では「議会だより」の発行の他に、SNSを活用した広報や議会中継、録画配信等を検討しており、議員の動向や議論の様子を多くの市民の皆様へ解り易くお伝えする事を考えております。

(亀山 彰 委員長記)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 郡司 功 |
| 副委員長 | 井川 倫士 |
| 委員 | 岸田 一夫 |
| | 亀山 彰 |
| | 渡辺 拓哉 |